

●国際食料情報学部国際農業開発学科（中一種免（理科）・高一種免（理科））

①教員養成に対する理念

国際農業開発学科では、環境保全に配慮した農業開発を推進するために必要な研究をおこなうとともに、国際的な視野で農業開発を実践する人材の育成に教育の目的をおいている。具体的には、「農業ができる人」、「途上国の開発をになう人」、「国際協力に貢献できる人」をそだてることを目標とし、これにもとづいたカリキュラムを編成している。したがって、教員養成についても、こうしたマインドを保持しつつ、各認定課程において必要な知識やスキルを有する、有能かつ人間性ゆたかな教員を輩出することをめざしている。

②教職課程の設置趣旨

中等教育に必要な総合的知識を身につけるとともに、植物および動物の生理・生態、生物の遺伝、生態系など、農業と環境にかかわる専門的知識を習得することによって、総合的かつ実践的な理科教育を遂行できる教員を養成することを本教職課程の目的とする。

1年次で履修する総合教育科目では、大学生活の心がまえをまなび、レポート・論文などの作成技術や情報リテラシーの基礎を習得すること、中等教育の国際化に即応することを目的として、「フレッシュマンセミナー」、「共通演習」、「情報基礎（一）（二）」、「英語（一）（二）（三）（四）」を卒業要件となる必修科目として配する。また健全な心身の修練をはかることを目的として、「スポーツ・レクリエーション（一）（二）」を教職必修科目として配する。

1～3年次で履修する専門教育科目では、国際農業開発学にかかわる科目のうち、教科に関連のある「熱帯作物保護学総論」、「作物害虫学」、「作物病理学」、「熱帯植物生態学」、「熱帯昆虫生態学」、「作物育種学」、「水環境学」を教職関連科目として配する。